

## 製材用原木の需要拡大と安定供給の進捗状況

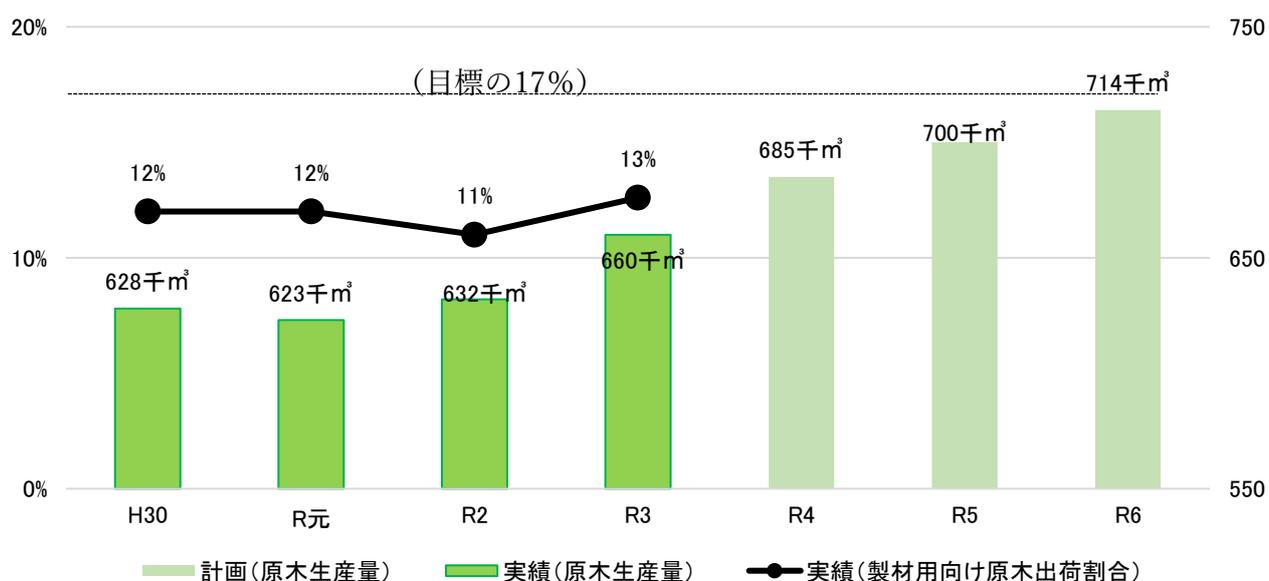
林業課

### ○令和3年度末の進捗状況

(1) コロナ禍において、県内の木造住宅着工戸数は約13%減少したものの、輸入木材不足による国産材需要等の高まりから製材用原木の需要量は増加。出荷割合は平成30年の12%に比べ1ポイント増の13%となった。

(2) 原木販売額は、製材向け出荷割合の増加等により平成30年に比べ5%の増

原木生産量のうち県内製材工場向け製材用原木出荷割合



### ○主な取り組み

- (1) 林業公社収穫事業を活用して14事業体が製材用原木の出荷拡大を実施
- (2) 木材製品の増産に向けた製材工場の施設整備等を5工場で実施
- (3) 原木市場での仕分け機能強化のため、仕分け機械7台の導入を4市場で実施  
(グラップル4台、フォークリフト3台)